

平成 22 年度 事業報告・決算報告

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

I 平成 22 年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 住民活動支援事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 22 年 4 月～平成 23 月 3 月

内 容：岩船地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）の実施。

【事業実績】

朝日道の駅みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

（主な相談内容）

- NPO 設立相談（日本海スケートボード協会）
- 長期入院や不登校の子どもに家庭教師をしたい（個人）
- 生活相談、支援物資提供、自立のための支援（震災被災者）
- NPO 法人の運営・会計相談（NPO 法人渡辺家）
- 田植えツアーの受入先についての相談（神林カントリー農園）
- 交付金申請の相談（大須戸むらづくり協議会）
- PTA 行事として、何か体験メニューがあったら教えて欲しい（上海府 PTA）

<センター利用者数について>

平成 22 年度のセンター利用者数は、586 件／826 人であった。

- ◆ 「会議・打合せ」利用が大幅に増加
→ パートナーズセンターが参画・コーディネートする事業数が増加したことに伴い、その担当者打合せ等をセンターで行うことが多くなったため。
- ◆ 「相談・問い合わせ」「その他」は依然として低い数値のまま
→ 民設になってから（H20～）は、公設時代（～H19）と比べると低い水準のまま
→ 認知度・立地場所が大きく影響していると考えられる

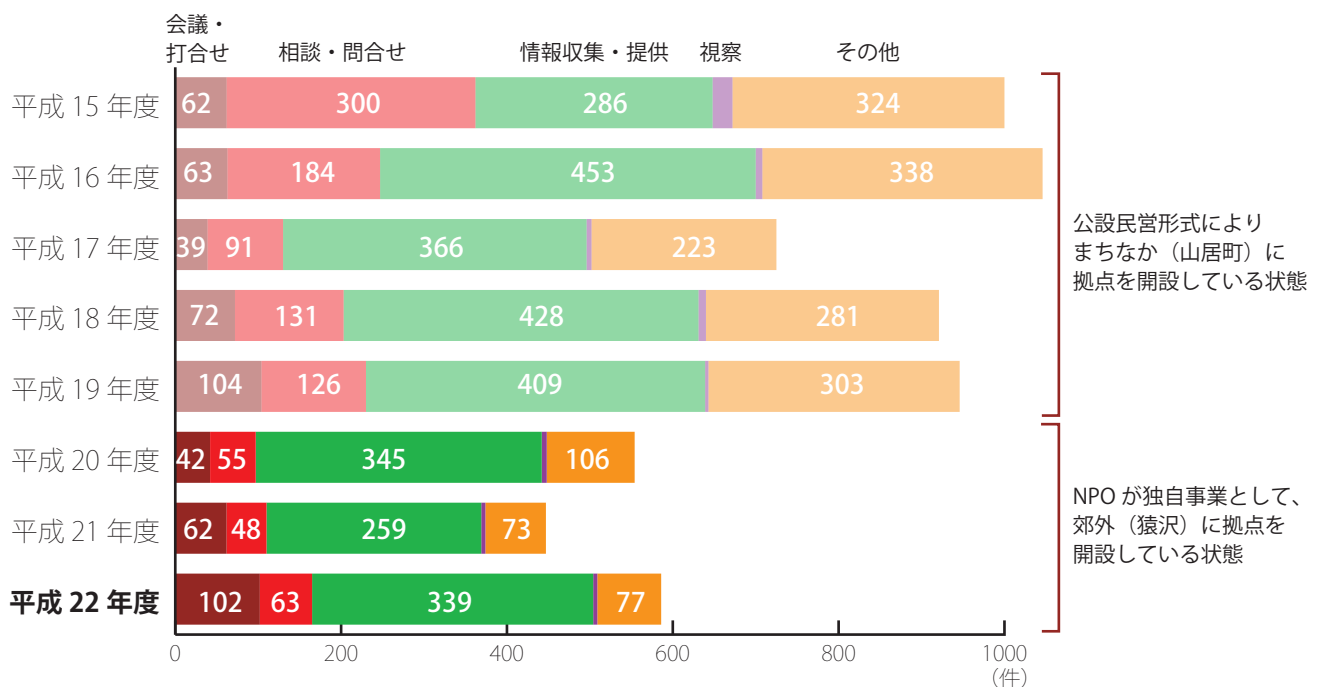


図 都岐沙羅パートナーズセンターの利用件数の推移

2. グリーン・ツーリズム推進事業

事業区分：自主事業／委託事業

実施期間：平成 22 年 4 月～平成 23 月 3 月

内 容：官民協働で発足した村上地域グリーン・ツーリズム協議会の事務局業務及び各種事業の実施。

【事業実績】

1) 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営（自主事業）

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担った。

（実施内容）

- 総会、幹事会、ワーキングチーム会議の運営
- 県補助「おいでよ新潟！子ども体験活動受入拡大支援事業」への申請
→事業が採択され、事業費の 1/2 補助（補助額 400 千円）を受ける
- 協議会の事務・経理作業

2) 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施（自主事業）

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の平成 22 年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。

（実施内容）

- ①学校関係者向け教育旅行誘致 P R 資料作成
 - 教育旅行、総合学習向けのプレゼン資料を作成し、学校と地域を結ぶオープンセッション（H23.2.10 開催）にて地域内の学校関係者に P R 活動を実施。
- ②教育旅行誘致に向けた旅行代理店への営業活動
 - 都内の旅行代理店（3 社）を訪問し、パンフの提供・当地域の P R 等を実施。
 - 都内の観光関連の財団担当者、専門家（2 社）との意見・情報交換を実施。
- ③体験インストラクター養成講座の開催
 - 体験インストラクターのための基礎研修会を企画・実施。
→ H23.2.18 に朝日みどりの里・体験交流センターにて開催／参加者 21 名
- ④民泊受入希望者研修の開催
 - 岩手県花巻市において実際に民泊を体験し、「はなまきグリーン・ツーリズム推進協議会」より花巻における受入状況等の情報・意見交換を実施。
→地域内関係者 10 名が参加
- ⑤受入に向けた緊急連絡体制の検討
 - 受入時における緊急連絡体制を関係機関と個別に協議し、構築。
- ⑥地域外へのプロモーション活動
 - ファームエイド銀座にブース出店し、当地域の P R 活動を実施。
→ H22.7.18 / 9.17 / 11.23～24 の 3 回出店

3) 村上地域内での民泊受入実験の実施 (委託事業: 県村上地域振興局)

村上地域振興局農林振興部からの委託を受け、地域内の民泊受入先開拓を目的に、実験的に民泊を伴う体験受入実験を実施。

(実施内容)

○村上地域において、子どもの農山漁村生活体験の受入を推進するため農家での宿泊を伴う体験受入を実験的に実施。3名を1組として農家に派遣し、宿泊を含む各種生活体験を行った。

→ H23.3.5 ~ 3.6 に実施/新潟市・村上市より小学生3~6年生13名が参加

→朝日・大須戸(4戸)、松原(1戸)が民泊を受入

(成果) 農家民泊を受け入れるにあたり、受入可能な家庭を掘り起こす事ができた。また、実際に受入をすることにより、今後農家民泊受入に対する意識を高めることができた。参加した子どもたちも農村で暮らす人々の暮らしを知り、人々とのふれ合いを通じて、穏やかな時間を過ごし、様々な体験をすることができた。

4) 村上地域グリーン・ツーリズム協議会ホームページの作成 (委託事業: 県村上地域振興局)

村上地域振興局農林振興部からの委託を受け、地域の体験メニュー・宿泊施設等の情報を掲載した村上地域グリーン・ツーリズム協議会のホームページを開設。

(実施内容)

○ホームページの具体的な内容の企画立案、コンテンツの作成、ページデザインの監修

→ H23.2.26 に開設し運用開始

ホームページのアドレス <http://www.murakami-gt.com/>

5) 朝日クラインガルテン開設に向けた各種支援 (自主事業)

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設する貸し農園(クラインガルテン)について、その開設に向けた支援を実施。

(実施内容)

○ H23 春の開園に向け、整備内容や運営体制等を協議する検討委員会に参加。

○ 農園利用者となる都市住民との交流経験があまり無い猿沢集落に対して、実験的に交流イベントを都岐沙羅パートナーズセンターが主体となって企画・実施。

→ H22.11.29 開催/新潟市を中心に30名以上が参加

→ 集落の方々に交流事業の雰囲気・内容・参加者の反応等を実感してもらう

○ 農園利用者募集のPRも兼ねた交流事業を、村上市と猿沢集落住民が中心となって企画・開催。センターは後方支援に回る。

→ H23.1.30 開催/新潟市を中心に30名以上が参加

○ H23年3月に管理組合が発足。センターも一組合員として参画し、農園事務局を担当することになった。

(成果) センターによる交流イベントの実験開催をきっかけに、猿沢集落の住民の方々が経験と自信を深め、集落住民が主体となった交流事業の実施へとつながっていった。

6) 新潟・食と花の交流プログラムの推進 (自主事業)

平成 21 年度から実施している新潟市でのプロモーションプログラム「おとなの夜学」を継続して実施。

(実施内容)

○平日夜に朱鷺メッセ 31 F 展望室にて、村上地域の魅力を食と酒に絡めて P R するイベントを講座形式で開催。

→ 4 ~ 11 月の間、毎月 1 回開催 (計 8 回開催 / 延べ 135 名参加)

04/20	『名水から生まれる食と酒』	佐藤勝敏	15 名
05/25	『山菜・摘み草料理を楽しむ』	小山幸江	20 名
06/15	『佐渡・粟島の海の幸を味わう』	西畑良俊	29 名
07/30	『今、大学がおいしい』	塩川和広・他 (ビープロデュースによる企画 / 広報のみを支援)	
08/24	『田舎の「ごつつお」を味わう』	竹内きょう子	20 名
09/22	『村上の食材を蒸して食べる』	村山優子・鈴木信之	13 名
10/26	『村上・山北の逸品を味わう』	富樫直樹	23 名
11/16	『新蕎麦と地酒を楽しむ』	清野正幹	15 名

(成果) この催しをきっかけにして、実際に村上地域を来訪する参加者が増加しつつある。

7) 村上茶 P R イベント企画運営 (委託事業: 村上茶活性化協議会)

村上地域外、主に新潟市民に村上茶の歴史や特徴について知ってもらう P R イベントを開催。また、村上茶ムリエ養成講座で使用するテキストのリニューアル作業への支援も事業の中で実施。

(実施内容)

○新潟市民向けの村上茶 P R イベント「村上茶を味わう」を朱鷺メッセ 31 階 (Befco ばかうけ展望室) にて開催。

→ H23.1.22 (土) 13:30 ~ 15:00 に実施 / 18 名が参加

(講師: 村上茶研究会・日本茶インストラクター 飯島 剛志氏)

○村上市観光協会が主催する「村上茶ムリエ養成講座」で使用するテキストリニューアルに対する後方支援を実施。

3. コミュニティビジネス支援事業

事業区分：委託事業

実施期間：平成 22 年 6 月～平成 23 年 3 月

内 容：地域内でのコミュニティビジネスを育成していくための各種事業を展開。

1) コミュニティビジネス育成支援事業（委託事業：村上市）

緊急雇用対策事業として 2 名を新規に雇用し、以下の 2 つの事業を推進した。

【産官学連携等による協同支援事業】

高根フロンティアクラブが産官学連携により推進しているソフトスチーム技術を活用し、地元農林水産業者との協働による新たな食品加工品の開発と新市場開拓に関する支援活動を実施。

【農商工連携による新商品・新サービスの開発、販路の拡大事業】

農商工連携による新商品・新サービスの開発を、多様な機関・組織との協働で推進していくための各種支援・コーディネート活動を実施。また並行して、首都圏をはじめとした地域外への PR 活動（情報発信・各種イベントへの参加等）についても積極的に展開。

【実施実績】

(1)産官学連携等による協同支援事業

①講演会の開催（H22.8.4 / 25 名参加）

- 早稲田大学・石田光義教授から当地域の観光振興と地域ブランド戦略・農商工連携によるビジネス提案等についての基調講演
- （株）TML 代表・山川裕夫氏から「新しい食品加工技術の取り組み」として、ソフトスチーム加工事例を紹介。

②ソフトスチーム現場見学会の開催（H22.8.5 / 15 名参加）

- ソフトスチーム加工品の展示・試食会・ソフトスチーム加工設備の説明。

③嚥下食開発研究会議の開催（H23.3.28）

- 新潟リハビリテーション大学（山村教授）から、ソフトスチーム加工食材を利用した嚥下食の共同開発の依頼を受け、（株）TML 代表・山川氏を招いた会議を開催。

（成 果） 23 年度から同大学とむすび工房で嚥下食共同開発の実施が決定。

(2)農商工連携による新商品・新サービスの開発、販路拡大事業

①「ファームエイド銀座 2010」参加（H22.9.18）

- ソフトスチームの PR 活動として、（株）TML 代表の山川氏よりソフトスチーム加工についての説明と、加工品（野菜ペースト）の試食会を実施した他、グリーン・ツーリズム PR 活動として、塩引き作り体験風景等の放映を行った。
- 会館周囲のテントでは、酒米の米粉を利用して作った酒米パスタと、ソフトスチーム加工食材で作ったパスタソースの試食・販売を行った。

②ソフトスチーム加工食品試食会

- 新潟市で開催する「おとなの夜学」にて、『村上の食材を蒸して食べる』をテーマにソフトスチームで 1 次加工した料理を提供。（H22.9.22 / 14 名参加）

(メニュー) 蕎麦の実リゾット (2種) / 朝日豚と秋野菜の甘酢和え / そばの実コロケ / 温泉卵のトマトジュレ / ピクルス・かぼちゃプリン

(成果) 地域食材で加工した料理は大好評で、地域外の参加者にソフトスチームの良さをPRする機会ができた。また、ピクルスやかぼちゃプリン等商品として提供可能なメニューが出来、かぼちゃプリンについては「スイーツ実験プロジェクト (H23.1.15～3.8実施)」の企画につながり、オリジナルスイーツとして提供された。

○「キサラ・コミュニティカレッジ」にて、ソフトスチーム加工野菜を使った料理講習会を開催。(H22.10.29 / 16名参加)

(成果) 参加者が地域の主婦であり、普段料理をされている方の意見を聞くことが出来たことと、実際調理して食べていただいたことによりソフトスチーム加工の良さを実感していただいた。

○新潟リハビリテーション大学の学生・教職員を対象に、ソフトスチーム加工食材を利用した昼食の試食会を行い、学食への提供を試みた。(H22.12.22 / 学生及び教職員 30名)

(成果) 試食会参加者のアンケートから、学食・試食メニューに対する学生達の率直な感想・意見を聞くことができ、今後の若者向け商品開発の参考データを収集した。23年度からは、月1回程度イベント的な学食を提供することとなった。

③ソフトスチーム加工食材を活用した新商品開発

○ソフトスチーム加工技術を活かした商品開発を進める上でのモニター調査を、瀬波温泉旅館の協力を得て実施。

事業名	宿泊客へのスイーツ無料チケット配布による誘客促進実験プロジェクト事業
期間	平成23年1月15日～3月8日(実提供日数:39日)
目的	ソフトスチーム加工技術を活かした商品開発を進める上でのモニター調査を実施する。また、この地域では観光シーズンとして閑散期に入る冬期間において、オリジナルスイーツを利用した観光客の誘客促進実験を行う。
内容	ソフトスチーム加工を施した食材でオリジナルスイーツを開発し、瀬波温泉宿泊客を対象にスイーツ無料チケット付きの「宿泊パック」の販売と、スイーツが無料で食べれる抽選券を配布。
協力者	椿の宿・吉田や／湯元・龍泉／ゆうなみの宿・瀬波ビューホテル／ホテル瀬波観光／大観荘せなみの湯／ニューハートピア新潟瀬波／夕映えの宿・汐美荘／くつろぎの宿 静雲荘(以上8事業者／順不同)
実績	無料チケット使用数38枚／抽選券使用数56枚

(成果) ソフトスチームを活用した商品開発における具体的な課題が明確になった。
→規格外野菜を活用する場合、調達手段の確立が不可欠
→開発したスイーツ自体は非常に好評であり、方向性は合っている
観光サイドとの連携については、本格実施に向けた貴重なデータ・教訓を得ることができた。
→温泉旅館との連携には、一日あたりの供給量の拡大・スイーツ提供店舗の拡大・宿泊パック化する際のシステム構築・観光商品として販売する場合には十分な販売期間を設けるなどが必要
実験に関わった全事業者が積極的に協力し、新たなCBの手応えを掴めた。

2) 村上逸品発掘交流会事業（委託事業：村上市地産地消推進協議会／村上市）

村上・岩船地域の隠れた逸品を発掘するため、品評会形式の交流会・意見交換会を実施。

【実施実績】

「村上逸品発掘交流会」の開催

○農商工連携による新商品・新サービスの開発、販路拡大のきっかけづくりを目的に地域内外の農商工関係者が集まり実際の産物・製を見ながら参加者同士で情報・意見交換を平成20年度より継続開催。

→（第4回）平成22年10月20日（水）参加者：69名

→（第5回）平成23年02月15日（火）参加者：82名

○過去の交流会出品者（17事業者）への追跡調査を実施。

（成 果） 表参道ネスパス新潟館店長や新潟市在住の野菜ソムリエなど、地域外への展開につながるようなゲストを毎回招くことで、具体的に販路が拡大した事業者が増えてきている。

過去の出品者への追跡調査を実施したところ、交流会終了後に新たな展開が生まれている事業者が複数いることが判明し、事業の有効性が明確になった。

3) 新潟県内のソーシャルビジネス地域ネットワーク調査への協力

（協力先：新潟コミュニティバンク）

新潟コミュニティバンクが主体となって実施する「新潟県内のソーシャルビジネス実態調査」において、調査委員会への出席・村上岩船地域におけるアンケート調査への協力を実施。

4. 学校と地域をつなぐ「地域活動体験コーディネーター事業」

事業区分：委託事業（発注者：新潟県県民生活・環境部県民生活課）

事業期間：平成 22 年 4 月～ 23 年 3 月

内 容：学校と地域を結び、子どもたちの社会活動への参加を促すための「地域活動体験コーディネーター」を設置し、学校と地域の連携を促す事業を展開。

【実施実績】

①コーディネート事業

実 績 5 件 / 511 人

内 容 地域おこしについての聞き取り、総合学習の中での専門家の授業、PTA 講演会、体験学習のコーディネート 等

②会議出席・研修・取材・調査・打ち合わせ

実 績 61 件

内 容 地域と連携して実施している総合学習の取り組みを取材し、ブログや情報紙等で紹介。また関連する会議へ出席。

(会議出席) キャリアスタートウィーク実行委員会／勤労青少年ホーム運営委員会／「郷育のまち・村上」推進実行委員会／村上市若年者職業自立支援ネットワーク会議 等

③情報誌発行

実 績 5 回発行（5 月・6 月・7 月・9 月・1 月） / 発行部数 5,000 部（累計）
教育委員会経由で各学校に配布

④情報交換会の開催

○第 4 回学校と地域を結ぶオープンセッション（H22.8.3 / 119 名参加）

→地域コーディネーター加藤英人氏、さんぽく北小学校長渡邊正士先生による山北地域の事例発表を実施。地域内 22 団体の活動紹介を行った後、各ブースに分かれ先生方とフリートーク形式での意見交換を実施。

○第 5 回学校と地域を結ぶオープンセッション（H23.2.10 / 78 名参加）

→参加団体紹介後フリートークで意見交換を実施。活動紹介では朝日みどり小学校土田教頭より地域体験型遠足についてお話して頂く。その後 6 グループに分かれワークショップを行い「地域活動体験の取り組みで子供達がどう変わったか、またどう変わってほしいか」について話し合った。

⑥地域活動体験コーディネーター村上情報交換会の開催

○県内で活動している地域活動体験コーディネーターの研修会を村上市にて開催（H22.8.3-4 / 12 名参加）

(成 果) ○今年度は情報誌を年 5 回発行して、内容は地域の人紹介をメインにしたことにより、学校からの問い合わせもあり地域と学校のつながりをつくれた。
○第 4 回のオープンセッションは、8 月開催により先生が多く参加してもらえたので、参加団体と先生のつながりをもてる機会をつくれた。
○第 5 回は時間が少なかったが、前回までとは違いグループトークのワークショップで踏み込んだ話し合いができた。
○オープンセッションを教育委員会と続けてきた結果、村上市教育基本計画の推進項目にオープンセッションの開催が位置づけられた。

5. 地域づくり支援事業

事業区分：委託事業／自主事業

実施期間：平成 22 年 4 月～平成 23 月 3 月

内 容：村上岩船地域における地域づくり事業の実施・コーディネート。

【実施実績】

1) 中山間地域活性化事業（委託事業：県村上地域振興局／H22.6～H23.3）

高根集落で展開されている各種自然体験をより活発化し、多様な都市住民との交流が更に進展することで、地域のますますの活性化を図るべく、集落内を流れる清流「高根川」に親水空間を整備するための計画づくりを住民参加で実施。

①自然体験学習会 & ワークショップ（H22.9.11～9.12 / 41 名参加）

- 1 日目は高根川で新潟大学の学生を講師に水生生物調査や川遊びを実施し、その後、川の水辺が「もっとうなったらいいのになぁ！」というアイデアを考えるワークショップを開催。
- 2 日目は高根川の源流を訪ね、ビオトープで生物観察会を実施した後、「森の仮面づくり」のための植物採取を行い、仮面づくりのワークショップを開催。

②高根川親水空間整備ワークショップ

- 第 1 回ワークショップ（H22.11.2 / 35 名参加）
→雲上橋上流の堤防整備と利用計画について意見を出し合い、来訪者が楽しめる親水空間整備の内容を検討。その中で「高根流ガキ大将システムをみんなで作ろう」などの意見が出された。
- 第 2 回ワークショップ（H23.1.18 / 37 名参加）
→第 1 回のワークショップの意見を踏まえながら「体験・学びのプログラム」についてのアイデアを検討し、昔の遊びなどを体験してもらうなど意見が多く出された。

③チラシ原稿作成

- 高根山のおいしさ学校「自然遊び図鑑」のチラシ原稿を作成。

（成 果） ○堤防整備と合わせた活性化事業であったため、住民の関心も大きくワークショップに多くの参加者があった。
○第 1 回のワークショップでは、企業社員も参加され高根の自然の豊かさが P R できた。また大学生の講師は新しい感覚で自然体験プログラムが実施できた。
○自然体験 P R チラシが完成し、より一層の交流人口拡大に向けた足がかりができた。

2) 庄内・村上岩船地域広域連携事業

（事業協力：山形県庄内総合支庁・新潟県村上地域振興局／H22.6～H23.3）

隣接する山形県庄内地方と村上岩船地域との地域連携を推進するための事業を実施。両地域の行政・N P O 等で協議会を組織し、具体的な連携事業を実施。センターは協議会の事務局として、実施した全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。

①歴史文化学習会（H22.9.14 / 33 名参加）

- 庄内・村上岩船地域の歴史的な共通項を学ぶべく、村上市の長谷川勲氏を講師に

した学習会を開催。

②交換講師形式による人材の交流

- 出前講座 in 村上 (H22.11.15 / 13名参加)
→庄内地域における商店街での取り組みを紹介する講座を村上市で開催。
(講師：阿部等氏・村岡敏氏/会場：マーノマーノ)
- 出前講座 in 庄内 (H22.11.17 / 19名参加)
→村上地域における繭クラフトの取り組みを紹介する講座を鶴岡市で開催。
(講師：横井栄子氏・松山勝彦氏/会場：花梨亭)

③お互いの地域を知るバスツアーの開催

- 村上の活動現場を巡るバスツアー (H22.11.25 / 庄内から14名が参加)
→村上地域内で積極的に活動している現場を訪問するバスツアーを開催。
- 庄内の活動現場を巡るバスツアー (H22.11.29 / 村上から14名が参加)
→庄内地域内で積極的に活動している現場を訪問するバスツアーを開催。

④パンフレットの作成

- 歴史文化学習会や出前講座、バスツアー等で浮かび上がってきた両地域の共通する地域資源を紹介するパンフレットを6,000部作成した。

(成 果) 両地域の共通資源が浮かび上がり、連携に向けた第一歩を踏み出すことができた。

3) 村上・岩船地域のまちづくりに関する実績報告書作成業務

(委託事業：村上・岩船広域行政計画協議会 / H22.6～9)

村上・岩船広域圏で実施した「岩船地域ニューにいがた里創プラン」について、事業内容とその成果に関する報告書を作成。

4) 村上・岩船地域の広域行政に関する冊子印刷等業務

(委託事業：村上・岩船広域行政計画協議会 / H22.10～H23.1)

村上・岩船広域圏における広域行政のあゆみをまとめた冊子の編集作業を実施。

5) キサラ・コミュニティカレッジの開催 (自主事業 / H 22.4～H23.3)

地域住民が講師となり、参加費及び講師への謝礼を基本的にキサラで行う講座の開催。

①朝日大須戸のさくらんぼ農家を訪ねる (H22.6.23 / 9名参加)

→大須戸にある中山農園ハウスでサクランボ食べ放題の後、オプションで松原の桑畑に移動し、横井栄子さん案内で桑の実摘みを体験。

②紅葉の中でピザランチ in 高根 (H22.10.29 / 14名参加)

→高根の石窯工房でピザと、ソフトスチーム加工野菜を使ったサラダを作り、ランチを楽しむ。(講師：森井洋子氏)

③陶芸を楽しむ会 (H23.3.15 / 12名参加)

→各自作りたいものを講師の指導を受けながら製作。高橋さんの羊工房で焼き上げていただき1ヶ月後参加者に配付。(講師：高橋喬士氏)

6. 地域外における地域づくり支援

事業区分：補助事業／自主事業

実施期間：平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月

内 容：村上岩船地域外における地域づくり支援活動。

【実施実績】

1) 地域新事業移転促進事業 ～コミュニティビジネスノウハウ移転・支援事業～ (補助事業：経済産業省／H22.6～H23.3)

新潟県岩船地域（村上市・関川村・粟島浦村）では、平成 11～19 年度にコミュニティビジネス（以下、CB という）起業家育成を官民一体となって取り組んだ結果、中山間地域を含んだ地方部で、数多くの起業家を輩出することができた。当団体は、この事業を推進する中核機関として CB 起業家育成の総合コーディネートを担った経験から、中山間地域を含んだ地方都市における CB 起業家支援では、都市部とは異なるアプローチ・ノウハウが必要であると実感している。

本事業は、当団体が実践してきた中山間地域を含む地方都市での CB 起業家育成について、そのノウハウ・コーディネート術を、研修及び OJT を通じて他の地方都市にある中間支援組織等に移転することを目的として以下の事業を実施した。

①事業モデル・ノウハウの標準化事業

○都岐沙羅版・CB 育成テキストの作成

→「現場の悩みを解決する」を基本姿勢に、各移転先団体担当者の CB に対する認識や考え方、各地域での現状・課題を踏まえた上で、Q&A 形式のテキストを作成。

②移転先地域におけるハンズオン支援事業

○移転先事業者の選定（公募により 5 つの移転先団体を選定）

→ NPO 法人 風・波デザイン（岩手県紫波町）
→ NPO 法人 アットマーククリアス NPO サポートセンター（岩手県釜石市）
→ NPO 法人 杜の伝言板ゆるる（宮城県仙台市）
→ NPO 法人 NPO さんじょう（新潟県三条市）
→ 中越沖復興支援ネットワーク（新潟県柏崎市）

○移転先事業者への基礎研修会の開催（H22.11.18-19 / H23.2.15-16）

→集合型の全体研修を 2 回開催（H22.11.18-19 / H23.2.15-16）し、地方における CB の実態と育成にあたっての中間支援のあり方を、CB 起業家からの生の声を通じて伝える。

○各移転先地域に移転するプログラム・メニューのコンサルティングの実施

→各移転先団体を訪問してのヒアリング・担当者打合せを重ねながら、各移転先ごとに CB 育成プログラムを作成。

2) 講師派遣・視察受入（自主事業／H22.4～H23.3）

○有償での視察・ヒアリング受入数 5 件

→阿賀町の地域づくり関係者（H22.9.8）／三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング（H22.9.13）
／小千谷復興支援室（H22.11.2）／最上町議会（H22.11.25）／プロス株式会社（H23.1.25）

【その他事業】

1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 22 年 4 月～平成 23 月 3 月

内 容：15 年度に作成した社会貢献活動実態調査報告書について、圏域外からの入手希望については、1 冊 525 円で販売。

(財) ニューにいがた振興機構と NPO まちづくり学校が製作した、参加型まちづくりのテキスト「マチダス 1・2」を販売。

【NPO 法人の運営】

1. 広報紙発行事業

内 容：つきさらパートナーズプレスの発行。

実 績：3 回発行し、NPO の会員、都岐沙羅の起業家、地域内の協力団体等に配布した他、活動支援窓口来訪者に配布。

2. 理事・事務局スタッフの活動

1) 講演・講師 (12 件)

H22/06/08 粟島 NPO 設立検討ワークショップ (大滝理事)

H22/06/17 粟島 NPO 設立検討ワークショップ (大滝理事)

H22/06/28 粟島 NPO 設立検討ワークショップ (大滝理事・斎藤事務局長)

H22/07/13 上越市民大学・講師 (斎藤事務局長)

H22/07/14 地域の茶の間立ち上げ講座・講師 (大滝理事)

H22/07/21 地域の茶の間立ち上げ講座・講師 (大滝理事)

H22/08/27 柏崎市えんま通り商店街・講演 (大滝理事)

H22/10/07 秋田市よろず支援員研修会・講師 (大滝理事)

H22/11/30 中小企業大学校 CB 研修・講師 (大滝理事)

H22/12/11 三条市まちづくり交流会・基調講演 (斎藤事務局長)

H23/01/28 日本海きらきら羽越観光圏推進協議会シンポジウム・パネラー (村山理事)

H23/03/04 新潟市まちづくり講座・講師 (斎藤事務局長)

2) 委員会・会議出席 (32 件)

H22/04/28 村上市青少年ホーム運営委員会 (鈴木さ)

H22/05/18 村上郷育推進実行委員会 (斎藤事務局長・鈴木信)

H22/05/23 柏崎市元気なまちづくり補助金・公開審査会 (大滝理事)

H22/05/27 クラインガルテン検討委員会 (斎藤事務局長)

H22/05/27 (財) イヨボヤの里公社評議委員会 (和田理事)

H22/05/31 日本海キラキラ羽越観光圏推進協議会・通常総会 (斎藤事務局長)

H22/06/18 クラインガルテン検討委員会 (斎藤事務局長)

H22/06/21 東北電力山形支店地域づくり助成事業審査会 (大滝理事)

H22/06/30 村上・岩船地域広域計画協議会・前年度調査報告 (中村副理事長・斎藤事務局長)

- H22/07/08 十日町市中間支援組織検討会（大滝理事）
- H22/07/20 クラインガルテン検討委員会（斎藤事務局長）
- H22/08/02 十日町市中間支援組織検討会（千葉県大網白里町視察）（大滝理事）
- H22/08/10 村上市社会福祉協議会評議委員会（和田理事）
- H22/09/13 クラインガルテン検討委員会（斎藤事務局長）
- H22/09/15 村上地域6次産業化情報ネットワーク会議（斎藤事務局長）
- H22/09/27 十日町市中間支援組織検討会（大滝理事）
- H22/10/04 村上市観光協会・企画開発委員会（斎藤事務局長）
- H22/10/06 村上地域食育ワーキング会議（村山理事）
- H22/10/18 村上市観光協会・企画開発委員会（斎藤事務局長）
- H22/10/25 ソーシャルビジネス調査委員会（斎藤事務局長）
- H22/11/04 旅づくり塾・プラン造成会議（斎藤事務局長）
- H22/11/09 東北電力山形支店地域づくり助成事業中間報告会（大滝理事）
- H22/11/12 旅づくり塾・プラン造成会議（斎藤事務局長）
- H22/11/25 村上市観光協会・企画開発委員会（斎藤事務局長）
- H22/12/22 村上市観光協会・企画開発委員会（斎藤事務局長）
- H23/01/14 村上地域食育推進ネットワーク会議（村山理事）
- H23/01/20 ソーシャルビジネス調査委員会（斎藤事務局長）
- H23/01/24 新潟県名水選考委員会（大滝理事）
- H23/02/09 ソーシャルビジネス調査委員会（斎藤事務局長）
- H23/02/23 村上郷育推進実行委員会（鈴木信）
- H23/02/25 （財）イヨボヤの里公社評議委員会（和田理事）
- H23/03/25 村上市社会福祉協議会評議委員会（和田理事）

3) 法人運営に関する活動

①理事会（12回開催）

- H22/04/09 第1回（出席者09名／21年度決算見込・22年度事業見込等）
- H22/04/22 臨時（出席者08名／21年度収支等）
- H22/05/06 第2回（出席者08名／各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H22/06/04 第3回（出席者08名／各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H22/07/14 第4回（出席者08名／各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H22/08/06 第5回（出席者11名／各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H22/09/14 第6回（出席者12名／各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H22/10/05 第7回（出席者11名／各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H22/11/05 第8回（出席者10名／各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H22/12/07 第9回（出席者08名／各事業進捗状況報告 各種依頼の検討）
- H23/01/08 第10回（出席者11名／各事業進捗状況報告 各種依頼の検討）
- H23/02/04 第11回（出席者10名 各事業進捗状況報告 各種依頼の検討）
- H23/03/03 第12回（出席者09名 各事業進捗状況報告 各種依頼の検討）

②三役会議（3回開催）

- H22/05/28（第1回） H23/02/25（第2回）

③部会

開催無し

Ⅱ 平成22年度決算報告

平成22年度 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 収支計算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

科目・摘要	金額 (円)		増 減	備 考
	当初予算	決算額		
1 収入の部				
1) 会費・入会金収入	525,000	384,000	▲ 141,000	
正会員年会費	445,000	304,000	▲ 141,000	
賛助会員会費	80,000	80,000	0	
2) 寄付金収入	100,000	447,630	347,630	
3) 非営利事業収入	25,809,000	24,868,902	▲ 940,098	詳細は別紙内訳書参照
4) その他事業収入	0	10,615	10,615	詳細は別紙内訳書参照
5) その他	0	1,067	1,067	
当期収入合計 (A)	26,434,000	25,712,214	▲ 721,786	
前期繰越収支差額	83,167	83,167	0	
収入合計 (B)	26,517,167	25,795,381	▲ 721,786	
2 支出の部				
1) 非営利事業支出	24,294,000	21,226,256	▲ 3,067,744	詳細は別紙内訳書参照
2) その他事業支出	0	0	0	詳細は別紙内訳書参照
3) 管理費	1,288,250	4,538,213	3,249,963	
事務局人件費	0	3,031,100	3,031,100	職員2名分
法定福利費	0	338,358	338,358	労働保険・社会保険事業主負担
福利厚生費	15,000	15,540	540	スタッフ健康診断等
研修費	0	9,000	9,000	NPO会計基準学習会・参加費
旅費交通費	100,000	61,445	▲ 38,555	監事交通費・スタッフ業務移動交通費
理事会交通費	125,000	0	▲ 125,000	
支払報酬	250,000	225,750	▲ 24,250	税理士決算支払報酬
会議費	15,000	12,080	▲ 2,920	総会会場使用料他
通信費	200,000	100,951	▲ 99,049	メール便・電話・切手・年賀状他
広告宣伝費	5,250	17,250	12,000	NPO PRESS 広告/村上新聞年始特大号
事務用品費	0	11,745	11,745	
消耗品費	0	4,891	4,891	
印刷費	200,000	100,450	▲ 99,550	名刺/封筒/年賀状
支払手数料	3,000	28,119	25,119	
雑費	45,000	40,785	▲ 4,215	諸会費・協賛金
租税公課	10,000	30,700	20,700	契約用収入印紙
支払利息	0	218,101	218,101	つなぎ融資利息
消費税納付額	250,000	221,800	▲ 28,200	
法人税・住民税及び事業税	70,000	70,148	148	
4) 予備費	851,750	0		
当期支出合計 (C)	26,434,000	25,764,469	▲ 669,531	
当期収支差額 (A) - (C)	0	▲ 52,255	▲ 52,255	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	83,167	30,912	▲ 52,255	

平成22年度 各事業の収支

1 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局運営 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	100,000	協議会からの経費負担金 (資料コピー代)
	18,000	〃 (県補助事業・資料作成作業費)
	9,975	コピー代・/会議室使用冷暖房費 等
収入合計	127,975	
2.支出の部		
外注費	37,475	都市農村交流会・体験プログラム依頼
通信費	309,076	GT施設維持費：電話/プロバイダー料/メール便・切手代
水道光熱費	241,505	GT施設維持費：灯油/電気/水道
旅費交通費	16,180	スタッフ業務移動交通費
謝金	16,665	都市農村交流会・謝金
会議費	13,475	お茶菓子等
事務用品費	693,608	GT施設維持費：事務用品/OA機器/コピー用紙 他
備品消耗品費	29,956	GT施設維持費：日用品
新聞図書費	31,200	GT施設維持費：村上新聞/いわふね新聞 他
リース料	218,604	GT施設維持費：コピー機リース料
支払手数料	1,365	
印刷費	346,360	GT施設維持費：コピーカウンター料金
雑費	6,625	GT協議会会費/都市農村交流会イベント保険 他
広告宣伝費	105,000	にいがた酒の陣配布冊子への記事掲載
支出合計	2,067,094	
収支差額	-1,939,119	

2 村上地域グリーン・ツーリズム地域内受入実験事業 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	336,000	委託費/村上地域振興局
収入合計	336,000	
2.支出の部		
外注費	112,900	体験インストラクタ・民泊受入先謝金
旅費交通費	63,000	バス借上料
事務消耗品費	1,068	
雑費	6,500	イベント保険
支払手数料	210	
支出合計	183,678	
収支差額	152,322	

3 村上地域グリーン・ツーリズムHP作成事業 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	399,000	委託費/村上地域振興局
収入合計	399,000	
2.支出の部		
支出合計	0	
収支差額	399,000	

4 新潟・食と花の交流プログラム事業 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	432,950	おとなの夜学参加費収入
収入合計	432,950	
2.支出の部		
通信費	49,195	メール便 (チラシ送付)
外注費	236,978	食材購入
旅費交通費	83,096	スタッフ・ゲスト交通費
謝礼金	5,000	ゲスト謝金
会議費	153,700	会場借料
支払い手数料	2,310	
雑費	120,000	コンソーシアム事業負担金/新潟観光コンベンション協会会費
支出合計	650,279	
収支差額	-217,329	

5 村上茶PRイベント企画運營業務 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	509,250	委託費/村上茶活性化協議会
収入合計	509,250	
2.支出の部		
研修費	1,600	茶ムリエ養成講座受講料
通信費	3,050	メール便
旅費交通費	7,020	スタッフ交通費
謝礼金	20,000	ゲスト謝礼
会議費	20,000	茶ムリエ講座会場借料
事務消耗品費	10,800	お菓子・お茶材料費
印刷費	224,700	
支出合計	287,170	
収支差額	222,080	

6 コミュニティビジネス育成支援事業 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	3,895,500	委託費/村上市 (商工観光課)
収入合計	3,895,500	
2.支出の部		
人件費	2,372,800	職員人件費 (2名)
法定福利費	310,492	社会保険料等
外注費	418,806	スイーツ開発/スイーツ製造 他
旅費交通費	162,860	講演会講師交通費/FA銀座スタッフ旅費/スタッフ交通費他
謝礼金	25,000	講演会講師謝金
会議費	88,025	銀座出店料 (2回分) 他
事務消耗品費	1,050	厚紙
商品開発研究費	31,894	スイーツ試作用材料費
印刷経費	93,120	抽選券/チラシ/名刺
支払い手数料	1,470	FA銀座出店料振込手数料
支出合計	3,505,517	
収支差額	389,983	

7 村上逸品発掘交流会 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	503,738	委託費／村上市地産地消協議会
収入合計	503,738	
2.支出の部		
人件費	28,050	事業スタッフ人件費
通信費	12,525	メール便
旅費交通費	38,110	ゲスト交通費／スタッフ交通費
謝礼金	75,000	ゲスト謝金
会議費	1,000	弁当代 (講師用)
事務消耗品費	5,280	スプーン・茶菓子等
支払手数料	105	厚紙
支出合計	160,070	
収支差額	343,668	

8 新潟県内のソーシャルビジネス地域ネットワーク調査 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	96,200	作業費・会議出席旅費／新潟コミュニティバンク
収入合計	96,200	
2.支出の部		
支出合計	0	
収支差額	96,200	

9 地域活動体験コーディネーター設置事業 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	3,727,500	委託費／新潟県 (県民生活課)
収入合計	3,727,500	
2.支出の部		
人件費	2,570,000	職員人件費 (1名)
法定福利費	361,922	社会保険料等
福利厚生費	4,405	健康診断
通信費	1,650	メール便
旅費交通費	45,640	スタッフ交通費・研修会宿泊費
事務消耗品費	11,345	ネームホルダー・サインペン
印刷経費	2,310	名刺
支払い手数料	315	
支出合計	2,997,587	
収支差額	729,913	

10 中山間地域活性化事業（自然体験モデル） 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	997,500	委託費／村上地域振興局
収入合計	997,500	
2.支出の部		
旅費交通費	1,340	スタッフ交通費
謝礼金	50,000	アドバイザー謝金
事務消耗品費	9,645	コルクボード／ボンド／スケッチブック 他
支払手数料	630	
雑費	2,000	イベント保険
支出合計	63,615	
収支差額	933,885	

11 庄内・村上岩船地域広域連携事業 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	247,164	事務負担金／山形県庄内総合支庁・新潟県村上地域振興局
収入合計	247,164	
2.支出の部		
支出合計	0	
収支差額	247,164	

12 村上・岩船地域のまちづくりに関する実績報告書作成業務 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	315,000	委託費／村上・岩船地域広域計画協議会
収入合計	315,000	
2.支出の部		
人件費	40,950	事業スタッフ人件費
旅費交通費	11,776	スタッフ業務移動交通費
支出合計	52,726	
収支差額	262,274	

13 村上・岩船地域の広域行政に関する冊子印刷等業務 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	315,000	委託費／村上・岩船地域広域計画協議会
収入合計	315,000	
2.支出の部		
外注費	154,000	版作成／(有) オム・クリエイション
印刷費	161,175	印刷／村上印刷
支払手数料	105	
支出合計	315,280	
収支差額	-280	

14 キサラコミュニティカレッジ開催事業 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	37,200	参加費収入
収入合計	37,200	
2.支出の部		
外注費	29,000	各回講師へ依頼
旅費交通費	6,740	講師交通費/スタッフ交通費
会議費	800	会場費
支出合計	36,540	
収支差額	660	

15 地域新事業創出発展基盤促進事業費補助金 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
補助金収入	12,808,815	補助金/経済産業省
収入合計	12,808,815	
2.支出の部		
外注費	420,000	マニュアル図版作成委託
人件費	1,254,480	職員人件費 (1名)
	7,092,000	事業スタッフ人件費
法定福利費	172,095	職員 (1名)
通信費	3,140	郵便代
旅費交通費	1,043,985	出張旅費/講師旅費/委託先職員旅費
謝金	355,000	講師謝金
会議費	41,000	研修会会場借上費
印刷費	525,000	マニュアル印刷
支出合計	10,906,700	
収支差額	1,902,115	

16 講師派遣 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	15,110	新潟NPO協会より
収入合計	15,110	
2.支出の部		
支出合計	0	
収支差額	15,110	

17 視察受入 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
事業収入	18,000	新潟地域振興局
	30,000	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング
	5,000	小千谷復興支援室
	30,000	最上町議会
	15,000	プロス株式会社
	7,000	追加資料代
収入合計	105,000	
2.支出の部		
支出合計	0	
収支差額	105,000	

18 物販事業 収支計算書

科目・摘要	金額 (円)	備考
1.収入の部		
販売売上	525	社会貢献企業実態調査集販売
	8,000	マチダス
	840	社会貢献企業実態調査集販売
	500	社会貢献企業実態調査集
	500	社会貢献企業実態調査集
	250	送料負担分
収入合計	10,615	
2.支出の部		
支出合計	0	
収支差額	10,615	

平成22年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成23年3月31日

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産の部			未払金	1,877,502	
現金	694,699		短期借入金	14,500,000	
普通預金	1,739,614		未払い法人税等	70,000	
現金・預金合計		2,434,313	未払い消費税	221,800	
立替金	41,631		預り金	207,365	
未収金	14,501,215		仮受金	81,580	
仮払金	2,000		負債の部 合計		16,958,247
流動資産合計		14,544,846			
2 固定資産合計			III 正味財産の部		
出資金	10,000		前期繰越財産	83,167	
固定資産合計		10,000	当期正味財産増減額	-52,255	
			正味財産合計		30,912
資産合計		16,989,159	負債及び正味財産合計		16,989,159

平成22年度 財産目録

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター
平成23年3月31日

科目・摘要	金額	
1 資産の部		
1) 流動資産の部		
現金預金 現金	694,699	
普通預金	1,739,614	
		2,434,313
立替金	41,631	
		41,631
未収金		
・地域活動体験CO事業	1,118,250	
・GT協議会	118,000	
・SB調査事業	96,200	
・ノウハウ移転事業	12,808,815	
・正会員会費	13,000	
・賛助会員会費	14,000	
・GT協議会立て替え分	332,950	
		14,501,215
出資金	10,000	
仮払金	2,000	
流動資産の部 合計		12,000
2) 固定資産の部		
固定資産の部 合計		0
資産の部 合計		16,989,159
2 負債の部		
1) 流動負債の部		
預り金	207,365	
		207,365
未払金		
・3月分人件費	972,400	
・3月分交通費	35,880	
・法定福利費	102,222	
・新聞図書費	2,000	
・ノウハウ移転 理事プロジェクト報酬	765,000	
		1,877,502
短期借入金	14,500,000	
		14,500,000
仮受金	81,580	
		81,580
未払い法人税	70,000	
未払い消費税	221,800	
		291,800
流動負債の部 合計		16,958,247
2) 固定負債の部		
負債の部 合計	0	
		16,958,247
3 正味財産の部		
正味財産		30,912